

広報 川越

謹賀新年

No.1118

平成18年1月10日

(毎月10日・25日発行)

新たなスタートの年を迎えて：2

表通り
裏通り レンズ越しに見えた未来：10

○「社協だより」が折り込まれています。

*川越市ホームページ (<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>) でも広報川越をご覧になれます。

川越だるま



新たなスタートの年を迎えて

川越市長 舟橋 功一

市民の皆様、明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい平成十八年の新春を健やかにお迎えのこ
ととお喜び申し上げます。

また、日ごろから市政に対しまして、温かいご支援とご協力
を頂いておりますことに心より厚くお礼を申し上げます。

私は、昨年一月に行われました市長選挙におきまして、四期
目の当選の榮譽に浴し、引き続き中核市・川越の市長として重
責を担うこととなり、新たな気持ちで一年市政を推進してまい
りました。今後も、従来から主張してまいりました「福祉充実、
住みよい環境、歴史生かした活性化」を柱に、川越のさらなる
発展を目指し、引き続き努力してまいります。

昨年、本市および隣接する坂戸市・鶴ヶ島市・毛呂山町・越

生町の五市町で、国に対して要望を行ってまいりました自動車
の「川越ナンバー」につきましては、アンケート調査の実施な
ど、市民ならびに関係団体の皆様の多大なるご協力のおかげを
もちまして、導入が決定されました。あらためて厚くお礼申し
上げます。

導入時期でございますが、平成十八年度中となっております。
川越ナンバーが実現しますと、全国に川越地域をアピールでき、
地域の活性化や広域観光の振興が図れるなどの効果を期待して
おります。ことし、川越ナンバーを付けた自動車が、全国各地
を走る日が楽しみです。

さて、本年は、市民と行政にとって、まちづくりを進める指
針となる「第三次川越市総合計画」の初年度に当たります。平
成八年度に策定された「第二次川越市総合計画」の計画期間が、



同十七年度に終了し、本年四月からは、新たな計画に基づいて市政を運営することになります。

第三次総合計画に掲げる「基本構想」は、まちづくりに対する基本的な考え方を示す「理念」、目指すべき「将来都市像」、これを実現するための「施策の大綱」などを定めたものです。

また、第三次総合計画では、少子高齢化・環境問題の深刻化・地方分権の進展などの急激な社会環境の変化に応じて、「協働」「支え合い」「安全・安心」「活力」などを理念の要素としております。これに基づき、将来都市像は「ひと、まち、未来、みんなでつくる いきいき川越」と記しています。

本年は、この理念に基づき、「地域での支え合いや協働の必要性」「地域の活性化」を重視した、人もまちも生き生きとした、十年後の活力ある川越を目指す新たなスタートの年としていと考えております。

国・地方を通じて財政状況が厳しい中、第三次総合計画に掲げる諸施策を実現するため、よりいっそう簡素で効率的な行財政運営が求められております。

行財政基盤の強化を図るため、数値目標を明示した「集中改革プラン」を策定し、行財政改革に取り組んでまいります。

また、市民の皆様への市政への参加意識が高まっていることが

ら、市民・民間団体・事業者などの多元的な主体が、共に公共を担う協働の仕組みづくりに取り組んでまいります。

それでは、本年実施を予定している主な事業などにつきまして、その概要を述べさせていただきます。

少子高齢化の進展や地域における相互扶助の精神の希薄化など、家庭や地域を取り巻く環境は大きく変化しております。高齢者や障害のある方をはじめ、多くの市民の方においても、生活不安やストレスなどにより、社会的支援を必要とする方が増加する傾向にあります。

このような状況下において、市民が自立し、相互に助け合い、地域のさまざまな活動に積極的に参加でき、だれもが安心して生活できる地域社会をつくるという考えの地域福祉の推進がますます重要になっていきます。

現在、「川越市地域福祉計画」の策定を進めており、今後はこの計画に基づいて各種施策を推進してまいります。

少子化対策につきましては、昨年、子育て中の親や子の交流の場となる「つどいの広場」を三か所設置しました。これからも、子どもと親への支援体制の充実を図るなど、「かわごえ子育てプラン」に基づき、子どもと親と地域の皆様方が共に育ち、支え合うまちを目指してまいります。

高齢者および障害のある方が、健康で生き生きと安心して暮らせるよう、保健・医療・福祉の各サービスの充実を推進してまいります。

また、万一の際に迅速な救命活動ができるよう、市の主な公



共施設にAED（自動体外式除細動器）を整備してまいります。

近年、市民の皆様の生涯学習意欲はいつそう高まりつつあります。多様な要望に対応した各種事業を、引き続き実施してまいります。

「仮称高階地区公共施設」につきましては、生涯学習に対する住民ニーズへの対応および住民の皆様の利便性の向上を図る

ため、公民館・出張所・図書館および児童青少年施設の機能を持つ複合施設として建設を推進してまいります。

学校教育につきましては、本市独自の少人数学級編制や生徒指導・教育相談体制の整備など、きめ細かな指導をさらに推進してまいります。

また、教育環境の充実を図るため、昨年から改築を進めております月越小学校につきましては、平成十八年度中に完成いたします。



改築中の月越小学校

まちづくりにおいて、道路整備はその基礎となる重要な事業になります。このことから、広域幹線道路である川越北環状線の整備につきましては、実施主体である埼玉県と調整を図り、接続する幹線市道および生活道路の再編などの整備を推進してまいります。

また、交通の円滑化および安全性の確保のため、川越駅南大塚線および三田城下橋線の街路事業や、快適かつ安全な生活環境の形成・維持を図るため、日常生活において重要な生活道路の整備を推進してまいります。

雨水排水対策につきましては、浸水被害を防ぐため、雨水管や雨水調整池などの整備に加え、雨水利用タンクの補助事業を推進してまいります。

本市は、河川や樹林地などの優れた自然にも恵まれており、生物の生息空間、人々の安らぎの場として欠かせません。この貴重な財産である自然を保全・活用し、次世代へ受け継ぐため、本市南部にある平地林を「森林公園」として整備してまいります。

産業につきましては、社会経済情勢の大きな変化や国の構造改革など、時代潮流の変化に適切に対応した産業の振興を図る必要があります。

こうした中、地域産業の振興や活性化を図るとともに、地域のにぎわいの創出を図るため、埼玉県との共同事業として地域振興ふれあい拠点施設を整備してまいります。

「小江戸」と呼ばれる本市は、多くの歴史的・文化的遺産を有し、魅力ある観光資源として活用が図られ、年間五百万人近くの観光客が訪れております。

さらに観光振興を図るため、古くから伝わる伝統産業を資源とした産業観光を推進させるための地域再生計画を作成し、一昨年の鏡山酒造跡地活用の計画に続いて、昨年十一月に国の認定を受け、内閣総理大臣から直接受領してまいりました。

今後は、この二つの地域再生計画の推進を図るとともに、新たな観光資源の発掘に努め、年間観光客数一千万人を目指して、



昨年5月にオープンした森林公園内「森のさんぽ道」



伊佐沼農産物直売所の隣にある食堂「伊佐沼庵」。
地元の野菜を使った料理を味わうことができます

さらなる中心市街地の活性化および観光振興を推進してまいります。

昨年、地元の農産物を扱う農産物直売所が、伊佐沼の北側に設置され、多くの市民の皆様にご利用いただいております。今後も、地産地消を推進してまいります。

環境問題は、地球温暖化の問題に見られるように、二十一世紀最大の課題としてとらえ、本市においてはさまざまな施策を展開しております。今後も、地球環境にやさしいまちづくりを目指してまいります。そして、さらなる環境行政の充実を図るため、「仮称川越の良好な環境を保全する基本を定める条例」の制定に向けて検討を進めてまいります。

市民の皆様が太陽光発電システムを設置する際の補助につきましては、昨年末までに八百件を超えるご活用をいただきました。市内にたくさんさんのミニ発電所が誕生しております。

また、緑を増やし、ヒートアイランド現象の抑制効果が期待される屋上（壁面）緑化事業に取り組んでまいります。

新清掃センターにつきましては、西清掃センターの老朽化に対応するため、早期建設に向け事業を推進してまいります。また、この間、西清掃センターについては、施設の補修などを行い、適切な運転管理に努めてまいります。

アスベスト対策につきましては、市民の皆様の健康を守るため、公共施設の調査・対策や、解体時の飛散防止対策などを実施してまいります。



「自分たちの地域は自分たちで守る」を合言葉に、自主防犯活動が盛んになってきました

地域住民の皆様との文化活動やふれあい・交流の場となる新しいコミュニティ拠点として、東部および大東地区に地域ふれあいセンターの整備を推進してまいります。

近年、犯罪の発件数は全国的に増加傾向にあり、本市においても同様の傾向にあります。今後も、防犯のまちづくり基本方針に基づき、行政・警察・市民・事業者・関係団体が緊密に連携して、防犯のまちづくりを推進してまいります。

防災対策につきましては、川越市地域防災計画の見直しを行い、市民の皆様が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進してまいります。

本市は、古くから埼玉県西部地域における産業・経済・文化・観光などの中心都市として発展してまいりました。今後も、本市の持つ歴史・文化を生かし、さらに市民の皆様が「住むことに誇りを持てる川越」としてますます発展していくよう、安全・安心・安定のまちづくりを目指し、全力で取り組んでまいります。なお、いっそうのご理解とご協力をお願い申し上げます。

新年に際して、市民の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。結びとさせていただきます。

環境にやさしい自動車の運転をお願いします

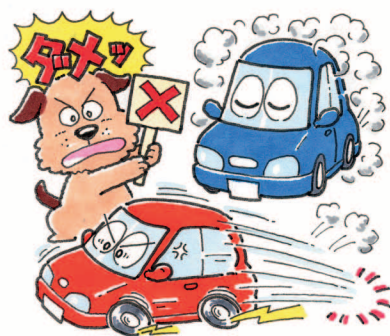
冬の空気は澄んでいるという印象を受ける方が多いのではないのでしょうか。実際は、大気が安定するなどの理由で、自動車の排出ガス等に含まれる窒素酸化物などの大気汚染物質（NOx）の濃度が上昇しやすい傾向にあります。

日ごろからアイドリング・ストップの実施や急発進をしないなど、環境にやさしい運転をお願いします。

● 駐停車中のアイドリング・ストップを守りましょう

● 公共交通機関を積極的に利用しましょう

● 急発進・急加速はやめましょう



● 定期点検・整備はきちんと実施しましょう

● 交通の流れを乱すような「迷惑駐車」はやめましょう

● より低公害な自動車を使用しましょう

問い合わせ：環境保全課大気係
全係・TEL内線2623

平成17年度第2回川越市営西武園競輪

第51回初雁賞・日刊スポーツ新聞社賞争奪戦

前節Ⅱ一月二十三日(月)～二十五日(水) (FⅠ)

後節Ⅱ一月三十一日(火)～二月二日(木) (FⅡ)

発走Ⅱ午前十一時二十分

開催場所：西武園競輪場（所沢市・西武園駅下車）

入場料：百円（十五歳未満は無料）

●フリーマーケットを開催

競輪開催日の、午前十時～午後四時に競輪場内でフリーマーケットを開催します（入場料が必要です）。

問い合わせ：商工振興課商工係・TEL内線2723



みんなで守ろう文化財 文化財防火訓練のお知らせ

市内には数多くの文化財があり、人類共通の貴重な財産である文化財を次代に継承していくことは、私たちに課せられた大きな責務です。

1月26日(木)は「文化財防火デー」。これに合わせて、次のとおり文化財防火訓練を実施します。地域皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いします。

日時…1月25日(水)、午後1時30分～

場所…喜多院・仙波東照宮・日枝神社

問い合わせ…文化財保護課管理係・TEL内線2861



昨年の防火訓練（喜多院）

市職員を募集します

市では、次のとおり職員を募集します。詳しくは、1月10日(火)から職員課（本庁舎4階）・出張所・連絡所・本川越駅証明センターで配布する募集案内をご覧ください。

*募集人員は、欠員状況等により変更になることがあります。

職種・募集人員…保育園などの用務員（3人） 受験資格…昭和46年4月

2日から同61年4月1日までに生まれた方 受付日時…1月23日(月)～25日

(水)、午前9時～午後5時 受付会場…本庁舎7階第1委員会室 試験日…2

月5日(日) 試験会場…市立川越高校

問い合わせ…職員課人事係・TEL内線2231

母子家庭の母に高等技能訓練促進費を支給

看護師・介護福祉士・保育士・理学療法士・作業療法士の資格を取得しようとしているが、経済的に困難な母子家庭の母に、訓練促進費を支給しています。

●対象（すべてに該当する方）

① 市内在住の母子家庭の母

② 現在仕事をしている

③ 児童扶養手当の支給を受けている、または同様の所得水準にある

④ 二年以上の課程を持った前記資格取得のための養成機関に入り、対象資格の取得が見込

まられる

支給額：月額十万三千円

支給期間：全課程のうち、最後の三分の一に相当する期間に

対し、十二か月を限度として支給

問い合わせ：こども家庭課児童福祉係・TEL内線2587

福祉係・TEL内線2587

償却資産の申告と給与支払報告書の提出をお願いします

償却資産の申告

個人や法人で、商店、工場、アパートや駐車場などを経営している方は、平成十八年度の償却資産の申告をお願いします。

償却資産とは、事業のために用いる機械・器具・備品などの事業用資産（土地・家屋・借り入れ資産を除く）のことで、固定資産税の対象になります。償却資産の所有者は、毎年一

月一日現在の所有状況について、その種類・名称・取得年

月・取得価額・耐用年数などを、その資産の所在する市町村長に申告する必要があります。

また、申告書の代わりにハガキが届いた方で、平成十七年中に資産が増加または減少した場合にも、申告が必要になります。

申告期限・場所：1月31日(火)までに資産税課（本庁舎二階）

問い合わせ：資産税課管理係・TEL内線2363

など、すべての給与支払金額を記入してください。提出は、従業員の方が平成十八年一月一日現在、住んでいたそれぞれの市区町村長あてです。

給与支払報告書の提出
給与支払時に所得税を源泉徴収している事業主は、給与支払報告書を提出することになって

います。報告書には、昨年一年間に支払った「給与」「賞与」

二十歳になったら『国民年金』

二十歳になった皆さん。きょうからあなたも大人の仲間入りです。そして国民年金にも加入します。

「そんな将来のことなんて」と思われるかもしれませんが、日本はいまや世界一の長寿国。長い人生の間には、何が起こるか分かりません。そんなときこそ、あなたを支えてくれるのが国民年金です。

国民年金は、国内に住む二十歳以上六十歳未満の方が加入することになっています（外国籍の方も日本に住んでいる間は加入対象）。

国民年金制度は国が運営し、皆さんの老後の所得を老齢基礎年金という形で保障します。また万一、病気やけがなどで障害が残った場合の障害基礎年金や

死亡したとき遺族に支払われる遺族年金が、一定の要件に基づいて支給されます。

保険料を納めずにいると、年金が受けられなくなってしまう。将来を考えて、老後に安定した収入として年金を受け取れるように、二十歳になったら国民年金に加入し、保険料を納めましょう。なお、就職している方は、国民年金の加入手続きは不要です。

保険料の納付が困難な場合は、保険料の免除制度や納付猶予（学生の場合は学生納付特例制度）がありますのでご相談ください。

問い合わせ：国保年金課国民年金係・TEL内線2481

(社)小江戸川越観光協会と豊島区観光協会が姉妹協会締結

12月4日、(社)小江戸川越観光協会は豊島区観光協会と観光交流を推進していくことで合意しました。

今、地域ではまちの活性化を図るために、特性を生かした地域観光などの「まちおこし事業」が活発に行われています。今後は広域で異なった都市文化の交流を積極的に進めながら、新たな魅力の創出を図り活力ある観光都市・小江戸川越を目指し、地域の活性化につなげたいと考えています。

問い合わせ…(社)小江戸川越観光協会・TEL227-8233

小江戸川越観光協会・豊島区観光協会 姉妹提携締結式



互いに手を取り合い、今後の協力を約束しました

新成人の皆さん、おめでとうございます。投票はあなたの権利です。

問い合わせ…選挙管理委員会・TEL内線3712



がない方は、この報告書が事業所から提出されたことよって、市・県民税の申告を済ませたこととなります。

提出期限・場所：1月31日(火)までに市民税課（本庁舎二階）

問い合わせ：市民税課市民税第二係・TEL内線2349



買い物には、
バッグを持っています

「もったいない」 で行こう!!

環境業務課減量リサイクル推進係
TEL224-8811内線2635

● 買い物をする前にお願い!

年末に大掃除を終えて、気持ちも新たに迎えた正月。ことしは、あれを買おうとか、これを買えようという予定を立てている市民の皆さんも多いのでは? 市では、その買い物をする前に、お願いしたいことがあります。

● 「リデュース」に、ご協力を

まず最初に、ごみを作らない、ごみとなる物を買わないという「リデュース」に、ご協力ください。

物を買うと付いてくる入れ物や包装は、欲しかった物を取り出したとたんに、いらなくなってしまう。また、安いからと多めに買ってきて賞味期限が過ぎてしまった食材や、作り過ぎて食べ残した食料品は結局、ごみになってしまいます。

これらの入れ物や包装、食材などのリサイクルされない分は、燃やしたり碎いたりしたあと、埋め立てられて処分されます。しかし、原料である「資源」や、「埋め立て地」は限りなく存在するものではありません。

過剰包装を断る、買い物袋を持参する、食べられる量だけ購入して、食べ残しをしない……。とても大切なことです。

● 「リユース」も考えて

次に一つの物を、繰り返し使っていくという「リユース」を考えましょう。子どもが成長したために、着られなくなった服などは、欲しいという方がいるかもしれません。友達どうしでの交換や、フリーマーケットやバザーへの出品などにより、再び有効に利用す



昨年の安比奈親水公園まつりで開催された
フリーマーケット。楽しみながら環境に
いいことができます

ることができます。

市では、昨年四月から不用品交換情報登録制度を開始しました。市民の皆さんの家庭で不用となった物を必要としている方へ譲る手続きが、いつでもできるようになりました。昨年の登録数は五十品を超え、その約三分の一の品物が新しい持ち主に使われていきます。手続きの方法など詳しくは、環境業務課にお尋ねください。

● 最後に「リサイクル」

使っていた物が壊れたら、まずは修理。どうにも使えなくなったら、物を原料へ戻して新たな製品に生まれ変わらせる「リサイクル」へと回します。リサイクルするためには、家庭での分別が大切です。現在、市民の皆さんが出している可燃ごみの中には、リサ



本庁舎5階エレベーター前に開設されている不用品情報コーナー。市ホームページでも不用品情報をご覧になれます
<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>

イクルできる物がまだまだ多く見受けられます。きちんと分別して地域の集団回収や市の収集に出せば、天然資源を節約して物を作ることができます。

● 資源を子孫に受け継いでいくために

最近、環境の面で、昔から続く日本固有の文化が外国の注目を浴びています。中でも「もったいない」ということは、リデュース・リユース・リサイクルの三つをひと言で表しているといわれ、流行語にもなっています。

「もったいない」は、お金をかけずに、ごみの減量と資源の有効利用が図れるいちばんの方法。地球上にある資源を少しでも多く子孫に受け継いでいくために、ことしから私たちが率先して「もったいない」を実践しては、いかがですか?

みんなの作文

一番長生きしたミータン

中央小学校三年 小川サラ



ミータンは、オスのねこです。ミータンは、わたしのお母さんが子どもの時から住んでいました。はじめは、ちがう家に住んでいました。そして、引っ越しをしてもミータンは、いつしよでした。うちには、ほかにねこがいます。その中でミータンは、一番長生きです。

ミータンは、いつも家の中のパトロールをしてくれています。だからわたしは、ミータンに会ったらたまに、「パトロールありがとう。」と言います。

ミータンは、人間の年でいうと百八十歳くらいで、ねこの年でいうと九十歳くらい

いです。ミータンは、白い体をしていて、茶色のトラの頭としっぽです。ミータンは、お年よりなので頭がごつごつしています。でもミータンは、自分のことをわかものと思っ

ているようです。だってミータンは、ふつうろう人用のポリポリという食べ物を食べるのに、わかもの用のポリポリを食べているんです。だからわたしが、

「ミータン、こつちだよ。」と言いました。でも、やつぱりわかもの用のポリポリを食べてしまします。だからわたしはその後に、

「もう。」

と言ってしまいます。でもわたしは、ミータンが大好きです。だからわたしは、ほかのねこたちにも長生きしてほしいし、わたしもミータンみたいに長生きしたいです。もちろんミータンにも、もつともつと長生きしてほしいです。

*ふりがなは広聴広報課で付けました。

おしゃべり倶楽部 201 植物あらかると

キンカン



本来は「金柑」ですが、「金冠」と書いて宝物を意味し、豊かさを表す木とされています。おせち料理にキンカンの甘露煮が入っているご家庭も多いのでは？ 中国やベトナムでも、めでたさや幸せを表す木であるとされているようです。

写真は、鴨田の佐藤義夫さん（68歳）宅にあるキンカン。樹高が2mを超え、毎年8リットルのバケツ3杯ほどの実が取れるそうです。「昨年よりも、実の色づきは遅かったですね」と佐藤さん。熟した実の皮をかじったら、ほんのりとした甘みと、すがすがしさが口の中いっぱいに広がりました。

短歌

一匙の水菓のみどを過ぎるとき今日結論は出さずと決めぬ
夕暮の田中を帰る耕耘機の泥のタイヤは堂堂と見ゆ
診察の名前呼ばれし老婦人身繕いして背すじのばしぬ
心地よき音響かせて精米機の吐く米労苦の輝きをもつ
子や孫の為にしあらず吾が為に顔の氣に入りし羽子板を買う

俳句

手の温み残る木の実を渡さるる
コスモスを括りし後の小雨かな
檜葉つめて届く秩父の初茸
小鳥来る大学街のカフェテリア
爽やかや楽譜に尾あり髭のあり

川柳

蔵の街駄菓子主役の顔で売れ
重文のお城で稼ぐ城下町
その人が立つと舞台が狭く見え
本日が賞味期限の叩き売り
栄転へ鬼千匹のうしろ指

藤倉東郎(藤倉)
水村律子(笠幡)
原田しずえ(石原町二丁目)
小村貴志(下新河岸)
石川俊一(笠幡)
丸山しげる(神明町)
島田光洋(三久保町)
山岡涼山(中原町二丁目)
鈴木達夫(通町)
小川正夫(神明町)

応募方法（3月掲載分は1月31日(火)必着）

- 短歌部門＝当季雑詠3首まで、俳句部門＝当季雑詠2句まで、川柳部門＝雑詠3句まで
- 市内在住・未発表・創作のもの・かい書で明記・すべての漢字にふりがなを付ける・作品の返却なし・掲載時に選者が手を加える場合あり
- ハガキに部門・作品・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号を明記し、〒350-8601川越市役所広聴広報課

レンズ越しに見えた未来



落ちないように、三脚をしっかり固定

「カメラはいつでもどこでも、四季を通じて楽しめるのがいいですね。1日撮って、1枚でもいい写真があるとうれしくなります」と写真の魅力を話す堅木さん。きょうもその1枚を求めて、レンズをのぞく堅木さん

四年前、ゴルフ場でせん定作業中に四メートルの高さから落下し、首の骨を骨折。堅木六郎さん（63歳・的場）は、首から下が動かせなくなるといって、重度の障害を負いました。その後、治療とリハビリによって、わずかに右手が動かせるようになりました。しかし、「こんな体を人に見られたくない」と自宅に引きこもってしまいました。

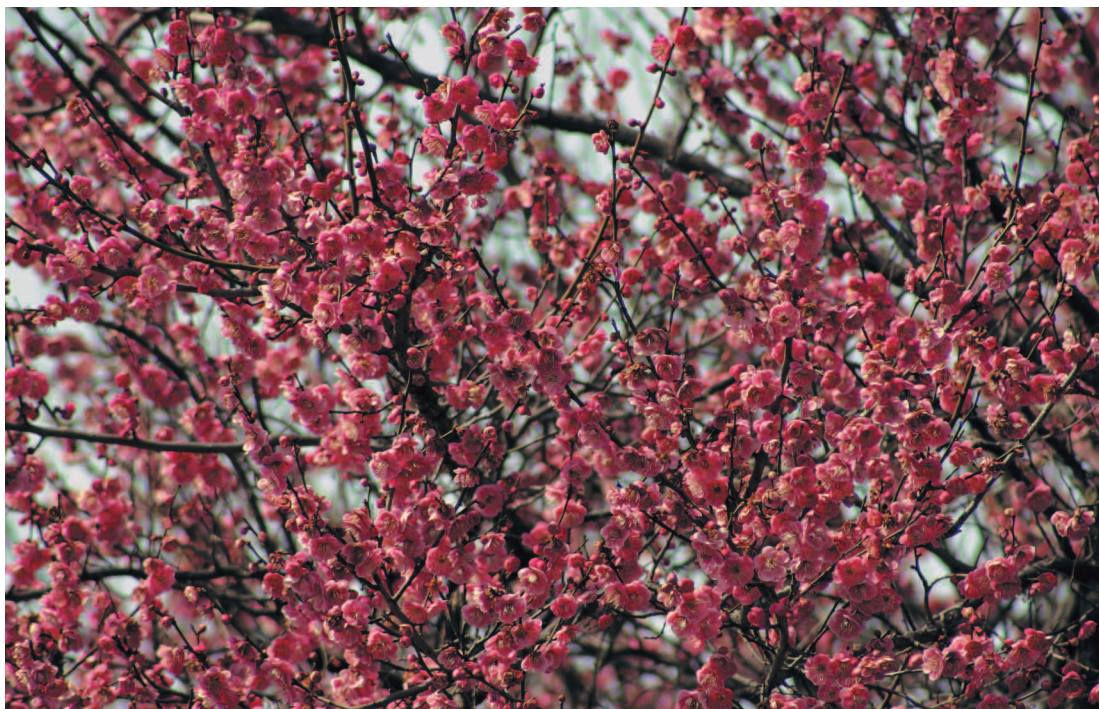
転機が訪れたのはおよそ一年前。訪問リハビリにきた作業療法士から「気晴らしに」と、写真を撮ることを勧められたのがきっかけでした。

*写真は、堅木さんが撮影した物です。

それまでインスタントカメラくらいしか使ったことのなかった堅木さん。訪問リハビリの作業療法士や知り合いの障害者に、一眼レフカメラの使い方を教えてもらうところから始まりました。自分の家の庭に咲く花や、妻の敏江さんといっしょに出かけたときに目に止まった物を、撮影していたそうです。

「続かないと思っていたんですよ」と話す敏江さん。その予想に反して、堅木さんは写真を撮り続けました。写真を撮るために、行動範囲も徐々に広がり、一人で出かけることも増えました。「最近では、遠くに行きすぎて心配です」と、敏江さんは笑って話します。

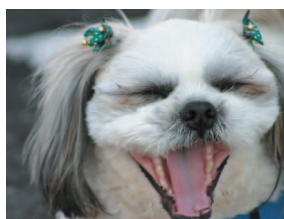
堅木さんは、自分でできないことがたくさんあります。誰かの助けが必要です。一人で出かけたとき、道行く方に声を掛けると、手助けだけでなく、会話も広がります。「何を撮っているのですか？」「この角度から撮るといいよ」……。たくさんの人に接することで、気持ち



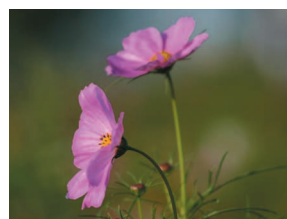
昨年3月に撮影した紅梅。
「このころから、写真が楽し
くなりました」㊦



昨年12月8日に撮影。
「初冬の富士」㊦



大切な家族の一員。
愛犬「バリー」㊦



安比奈親水公園まで1人で行
くことも。「コスモス」㊦

野生動物の撮影にも挑
戦。「鳥たちの朝」㊦



お気に入りの1枚。「小春日和」㊦



平成16年11月に、
初めて撮った写真 ㊦



カメラの向きの調節
には、右手とあごを
使います

シャッターは、右手
親指の爪で押します



明るくなりました。同時に、写真に対す
る思いも高まってきました。写真は、自
分だけでなく、家族も笑顔にしてくれる
大切な物。最近では、晴天の日は毎日の
ように、カメラを持って出かけています。
「もっとカメラを知りたい」「ことは、
風景写真を多く撮りたい」「私の写真を
見て、障害のある人が少しでも元気にな
ってほしい」「私を元気にしてくれた皆
さんへ、恩返しをしたい」。堅木さんが
レンズ越しに見る世界は、これからも広
がり続けるでしょう。

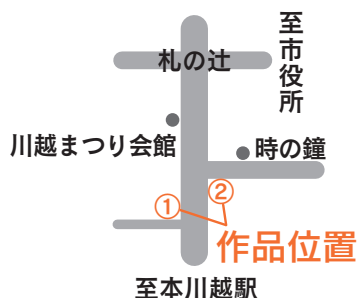
この季節は晴天が多く、蔵造りの黒い屋根瓦が、青い空に映えて美しく見えます。蔵の町並みを歩いていたら、屋根の上でこやかに笑う布袋を発見。斜め前の家には、にらみつけるような目をした鍾馗がいました。

七福神の一人である布袋。市内「七福神めぐり」では見立寺（元町二丁目）にあります。怖い顔をしている鍾馗は、魔よけの神様。通町の山車人形にもなっています。布袋が福をもたらし、鍾馗が魔よけをする。いつまでも、蔵の町並みを守ってくれそうですね。



① 2階の屋根の上に乗っている鍾馗。向かって左側の、見つけにくい所にありました

布袋は、一番街に面した1階の屋根の上にありました



TV わが街川越 番組ガイド



収録の様子 (KCVスタジオ)

平成十八年の新春に語る

昨年は、国の重要無形民俗文化財に指定された「川越まつり」をはじめとする催しで盛り上がり、福祉・交通など市民生活に直結する施策が充実。これらを踏まえ、今後の市政を舟橋功一市長が語ります。

テレビ埼玉 (38ch) 毎月第1・第3土曜日とその翌日の日曜日に放映

1月21日(土)／午前9時30分～9時40分

1月22日(日)／午後5時30分～5時40分

川越ケーブルテレビ (15ch)

1月20日(金)まで

午前9時20分～・午後0時45分～・午後4時20分～・午後5時45分～・

午後8時45分～ (金～日曜日) ・午後10時50分～ (月～木曜日)

テコケーブルテレビ (9ch)

1月23日(月)～29日(日)

午前6時30分～・午後0時30分～・午後4時30分～・午後7時30分～・午後9時30分～

*変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

どんぐり 編集後記

明けましておめでとうございます。ことしも、広報川越をご愛読いただけるよう、よろしくお願いします▶学生時代からスキーが大好きな私。毎年この時期は、新しい年を迎えたというより、スキーの季節が来たという感覚のほうが強いです。テレビでスキー場の様子が映し出されると、思わず目を留めてしまいます。学生時代のように、山にこもって毎日、というわけにはいきませんが、仕事の合間を縫って楽しもうと思っています▶さて、新年らしく、ことしの目標を。まず、仕事面では、わかりやすい文章作成、魅力的な写真撮影、市民の皆さんに親しまれる紙面づくり。プライベートでは、スキーはもちろん、久しぶりに海外旅行に行ってみたいです▶でも、いちばんの目標は「心と体を強く」。健康体でなければ、仕事もプライベートも充実しません。市民の皆さんも、健康には十分気を付けてくださいね。